

2025年度 「特定非営利活動に係る事業」 会計収支予算書

2025年4月1日から2026年3月31日

(特定非営利活動法人 京都子育てネットワーク)

科 目				
I 収入の部	1 会費	421,070	421,070	
	2 事業収入			
	① 子育て相互支援に関わる子育て広場運営	28,710,000		
	② 子育て相互支援に関わる親の社会参画のコーディネート	2,100,000		
	③ 子育て相互支援に関わる子育てグループコンサルテーション	222,000		
	④ 子育て相互支援に関わるグループ情報収集・発信	0		
	⑤ 子育て相互支援に関わる地域・行政・企業との連携	5,190,570		
			36,222,570	
	雑収入	50,000		
	寄付金	100,000		
			150,000	
	当期収入合計(A)			36,793,640
II 支出の部	前期繰越収支差益		11,059,714	
	収入合計 (B)			47,853,354
	1 事業費			
	① 子育て相互支援に関わる子育て広場運営	27,723,560		
	② 子育て相互支援に関わる親の社会参画のコーディネート	1,700,000		
	③ 子育て相互支援に関わる子育てグループコンサルテーション	244,310		
	④ 子育て相互支援に関わるグループ情報収集・発信	0		
	⑤ 子育て相互支援に関わる地域・行政・企業との連携	4,711,235		
			34,379,105	
	2 管理費	2,231,470		
			2,231,470	
	3 予備費	10,000		
			10,000	
	当期支出合計 (C)			36,620,575
	当期収支差額 (A) - (C)			173,065
	次期繰越収支差額 (B) - (C)			11,232,779

2025年度は全体としては収入プラスで終わることができた。京都市委託の4広場の委託金増額分に加え、保育事業の大幅プラスが大きな要因と考えられる。資金面では潤沢な運営体制に見えるが、その実は人件費を抑えていること等でやりくりしているところなので、自主事業での利益拡大が安定運営に必要と考える。

2025年度は、団体の安定的な運営体制をより強化するべく、広場以外の自主事業でマイナスを出さないことはもちろんのこと、収益事業となりうる事業（デイスティ等）を助成金を活用して育てていくことも大切に行っていきたい。